

朝鮮ていせんの古慣こくわんを調査ていさ

下準備 であつた申すまでもなく併合と共に舊韓國皇室は王家となり大皇帝が李王殿下となり皇帝が李王となり皇太子が王世子となられたから従つて其の親屬關係は相續關係、財産の制度、身分の規定等が新たに定められねばならぬ事であつた。即ち當時の

つて居ます。例へば朝鮮には全然隨つて居ないものがない。人民にも王室にも史にない。只王室にては讓位と

光州の古野櫻は早く散失して舊櫻のいと若き生いだけ、此頃光州の舊櫻前の八重櫻は今も花の最盛。數々と紅櫻、色とりよゝき、一朧か四五尺に立並べの美しき

光州の八重櫻

西礪波郡某村にて二日衆議
選舉の投票終りたる後同夜

百萬弗出醜

支那商人等は支那警關周の支那警察官等と異なり同地紳士會館同州人は在留支那人等は英國事義を自高拂を醜化して寄附すとの願大英政府

して一應府名を歸宅せしめたるに夜安世郷は無餘家出して行衛不明なりたるより定率は自殺を企て先指を切り鮮血を以て妻安世郷に宛「僕かき妻に逃げられ生きて何の望みもなければ自殺するが四半は自分の墓前に草花を手向けて弔呉れ」と云ふ意味の長文の遺書一通

なる石神如何に其の規模の大なる古森林の氣に觸れ之れ宛然塵

A black and white photograph of a dense forest. The image shows numerous tall, slender trees with light-colored bark, possibly birches or aspens, standing closely together. The canopy is thick with dark, textured foliage. The lighting creates strong contrasts between the bright tree trunks and the deep shadows within the forest. The overall composition is vertical, emphasizing the height of the trees.



網を切斷竊取され其他雨樋、火栓の蓋、下水に覆ひある鐵

に、鎖金銀類の如き中に
入れあるものは其體持ちたる
ことあり而して是等金物を偽贋
品者は概ね卑人にして被害者
に之く此者の常套手段として
金具類の店へ持ち込み格安に賣り
買込みたる店にては
直ちに銷潰し又は叩き

せんごした男

年紅熱 京城南山町二丁目十
地大竹みよ(一)は四日猩紅熱と
通車中なる日の出小學校及び患
即日消瘡の上患者は入院發病す

ウエニスの鮮血

中海南、河北あたりは盛んであるが、山東の濟南府では日本人の川相乙といふ豪傑が禮拜堂を建ててある。この開神マホメットは經典が銀かしらで、行かねば及物で行かねば(一)死氣者である、而して是教を信じて死すれば子女を永久に神の御

額にては特別興行として来る
り向ふ四月間アンブロジーオ會

本邦諸君との爲め特別に優待あり
 銀行二十餘、金銀即ち流通入地料に
 得る事とせり

長春の市外
 國々文々字々

滿洲の天賦地產は、富饒な地であらう
 といふ。穀類の豐收は、舊來にしてた
 り。蠶桑の業は、近年、其の土產アリ
 たり。蠶桑の業は、近年、其の土產アリ
 たり。蠶桑の業は、近年、其の土產アリ
 たり。蠶桑の業は、近年、其の土產アリ

△支那の信徒三千萬〓
肉を喰はぬ〓ウィーク
文字〓朝鮮〓

餘程の好奇心が湧いたけれど、
 等を訪ねるには時間が無かつた。
 は壁の寺の森は露西亞の桃色
 學館と共にだんだん、後
 手に違ふかつて行く。そう、
 下付日見が、
 日見が先づ無所懸で打つて出
 (二巻) 真珠 大原 久
 花子 阿茶 子
 富た、核で念中、上田

京公債直取引

[illegible][illegible][illegible]

百七十丁方の

[illegible]

て二百五圓迄糶

●満洲粟反撥 日
 何種腰膝の如き事情にて商
 賈乏な氣格へ市場の人氣は益
 を加はつゝあり

●満洲粟反撥 日
 満洲粟は時今又一擡れ超へ
 去るの意は益々大くする
 去二日入は海城三萬七千
 陽間八十二にて二十八日値

●十七錢方の騰貴
 日
 十七錢方の騰貴

るも米穀皮、輸入材摺に之が代用として需要多く内地筋よりは輸入品に過み絶わざる爲め氣配良好相違は

延期中納入
 此中契約
 セメント品切れ
 今の大商内
 今の大商内
 今の大商内
 今の大商内

當立たる事因に目下平康に作
中なる小野田セメント會社
の建設工事の如き船熱セメント
を供給し得ずして困難しつゝありと

[illegible]

文により買込み居り其姓名米の手
續果に因るもの云ふべし

京城正米

[illegible]

又々々 軟米調となり本朝 宮付も二

陳後
三

一三五六

七二六

五二五

四二六

田邊南龍口演

A black and white illustration of a samurai in a patterned kimono, holding a sword and a long staff, standing in a room with a sliding door. The samurai is depicted in a dynamic pose, leaning forward with his right arm extended, holding a long staff or pole. His left hand is positioned near his waist, where a sword is visible. He wears a kimono with a prominent diamond or floral pattern. The background shows a traditional Japanese sliding door (shoji) with a grid pattern. The overall style is reminiscent of a woodblock print or a classic manga illustration.

[illegible][illegible]

カシと連駕り来るを入左衛門面倒なりと杖に突て居たる根の徑三尺もありと云ふ松の木にて引拂ひました故三四人一時にそれにバタ／＼と仆れる、その中に入左衛門は疾風の如くにして飛んじ行く、野道野道の差別なくドン／＼蹴れて参りました、その途中に松の木又は杉の木に突かれますがそんな事は關はない然し其度に竹簾の頭がそれにコック／＼打かれます竹簾は驚いた「何うだ入左衛門さん、モウ少しくお静にお頼み申します、此の工合では江戸まで行くまで逆も生命がたえません」と云ふのを關したを、ドシ／＼蹴ると世に大力と云ふはございしますが此の石川入左衛門は大力を通抜けて怪力と申すのでございませう、抜けて道を行進をして自分では彼は五六里も来


[illegible][illegible][illegible]

質

堀佐營業所

電話六三九九番

胃腸最新藥



ンチスゲチ

日本橋區
三ツヶ岡喜寶傳神


東京黄金町二丁目入
(永樂堂藥留所北)

常用すれば血液を
増し精力を盛んに
す

◎説明を速見

東京町
藥問屋
合資 圓城商匯

胃腸の患食慾不
振病弱の恢復期
營養供給の目的に
て此の快血小兒の
發達に實効に實用
せらる



東京薬化学研究所

梅毒の材料相談

東京市本所近所小坂町

△ 梅毒を患ひて、治療を希望する△
△ 病名を知らず、力方で患ひ得る△
△ 詳細説明を希望し、討議する△


▽ 關切めて梅毒に傳染し、醫師に行くと取かしく治療に當惑する△
△ 人は安全なる内服化學藥で自宅で秘密に療治が出来る△

△ 少くづつ、いづれに何時にか癒へる△
△ 九ヶ月前、梅毒に染まり、實感せしむる△
△ 外國人に染まり、以上にて世に知らぬ△
△ 効力も、外國人に染まり、以上にて世に知らぬ△

△ 治療の出来る詳細説明を、日國で完結し、秘製明書に自筆の材料を、郵送する△
△ 大抵、梅毒に染まり、以上にて世に知らぬ△
△ 効力も、外國人に染まり、以上にて世に知らぬ△

△ 治療の出来る詳細説明を、日國で完結し、秘製明書に自筆の材料を、郵送する△
△ 大抵、梅毒に染まり、以上にて世に知らぬ△
△ 効力も、外國人に染まり、以上にて世に知らぬ△

△ 治療の出来る詳細説明を、日國で完結し、秘製明書に自筆の材料を、郵送する△
△ 大抵、梅毒に染まり、以上にて世に知らぬ△
△ 効力も、外國人に染まり、以上にて世に知らぬ△



やせたい人
体癖ある人

ぢ疾者に告ぐ

平の疑病もキラスハクリコロに死
 に活る良藥困病者はハガキにて
 此處無料詳報
 兵庫縣 石東本町

元庄本家
 出城方詳報
 申渡海に効力正と良藥有往復
 患縣加古郡飯元村

耳のウシロワキの
 ハラモ、等ハクリコロに死
 平の疑病もキラスハクリコロに死
 に活る良藥困病者はハガキにて
 此處無料詳報
 兵庫縣 石東本町

登 綠 商 標

新 日 本

大

醬 油

金 目 丁 賣 元 特 約 發 賣 元

電 話 二 一 番 店 商 藤 安

金 目 丁 賣 元

薄口で美味

殊に刺味漬物には

天下一品

キツト御家族に喜ばれます

に 限 り ま す


好い時候に
好い酒

運動會花見

京都大元寶合名社京都支店

電話 四〇一
京都 錦町

京都大元寶合名社京都支店

<p>電 話 七 五 四 番</p> <p>荳 川 漁 具 店</p>	<p>仁 川 海 岸 町 三 丁 目 角</p> <p>釣 漁 具 各 種 卸 小 賣</p>	<p>京 城 古 市 町 (元 郵 便 所 跡)</p> <p>製 造 販 賣 所</p>	<p>石 版 活 版 各 色</p> <p>印 刷 用 イ ン キ</p> <p>騰 寫 版 イ ン キ</p> <p>石 版 用 ル ー ラ</p>	 <p>長 壽 靈 品 は</p> <p>「ヨ グ ル ト」</p> <p>京 都 島 田 町 亮 井 牛 乳 販 賣 部</p> <p>電 話 〇 〇 四 四 四</p> <p>「荒 井 の 牛 乳」</p> <p>滋 養 條 條 保 持</p>
---	---	---	---	---

本館東京
平尾銑也商店
關西代理店大阪
平尾贊平支店

パール
煉香油
があるばかり
パール愛用者が
おっしゃる
實話であります

髪かみをしなやかに
丈長ぢやうぢやうがく
美うつくしく房々ふさふさと
漆しつのやうに
黒くろくするは
廣ひろい世界せかいに
フタ

彼れ是と迷て無く 眞に能く効く 神症湯

子宮病の血と道とチマウに悩む人は

即刻試みよ現に、
 困烈しき神經痛で悩みし人
 困願難治のリウマチスの人
 困數年固疾疝氣で苦しむ人
 困百法効なき子宮病の婦人
 困常に悲しむ血の道の婦人
 困多年悩むヒステリーの人
 困不治の慢性胃腸病の人
 困此良藥神症湯の連服で漸次快
 困がに赴き遂にはスツカリ快癒し
 困癒さの餘り驚愕な體狀一現
 困を寄るゝ實例も数からず若
 困幸にも是等の病に悩む人あらば輕症
 困と難症の論なく即刻試し神症湯は家
 困方の良藥にして今全圖各藥店に有り

●こんな徴候の人
 胸、腹、手、足、肩、脊、腰、膝、
 等九等つり、腫、しびれ又は筋張痛
 彼處此處と移動し何となく意
 腹張差込、腹なり胸つかえ、溜飲
 食進まず又は進過ぎ便秘又は下
 痢、寒氣、逆上、血眼、目眩、耳鳴
 頭痛、齒痛、頭重、肩凝、腹に力
 なく、腰足冷へ、夜眠られず、根氣
 薄らぎ記憶あしく、氣鬱、痼疾より
 物事に感ひ易く、頭手足の浮腫等
 症氣、リウマチス、神經痛、胃腸及
 子宮病、血の道より起る諸患に悩む
 人は片時も早く神症湯を試みよ
 包郵 中四十五圓 一週六十圓 二週一四圓 三
 十圓 五圓 試料五分 升銀
 名古屋市東區京町二丁目
 本舖 荒川長太郎
 電話 四千百三十七番
 日産 一圓 三九五番

神症湯

[illegible]